

## 9月定例教育委員会議事録

1 日 時 平成30年9月25日(火) 午前10時00分から午前10時47分

2 場 所 宗像市役所 本館3階 301会議室

3 出席委員 委員 宮司 葉子  
委員 白石 喜久美  
委員 石丸 哲史  
委員 釜瀬 計  
教育長 高宮 史郎

4 その他の出席者 教育子ども部長瀧口健治、教育子ども部子どもグローバル人材育成担当部長塔野賢一、教育子ども部主幹指導主事阿部龍彦、教育政策課長の野仁視、教育政策課指導主事佐々木真理子、教育政策課指導主事村上暢崇、学校管理課長山倉昌俊、子ども育成課社会教育主事河野和道、図書課長織戸由美子、文化スポーツ課長古沢昭一、郷土文化課長吉原賢治、郷土文化課主幹兼文化財係長白木英敏、教育政策課政策係長廣渡恵三、教育政策課政策係主任主事飯野佳代  
※傍聴 なし

5 (8/21定例) 議事録の承認 <承認>

6 議案

① 議案第16号 平成30年度(平成29年度事業)宗像市教育委員会事業報告書について<承認>

【高宮教育長】 第16号、平成30年度(平成29年度事業)宗像市教育委員会事業報告書について、事務局からお願いします。

【教育政策課長】 教育政策課的野でございます。それでは私の方から議案第16号について説明させていただきます。資料2の5ページをお願いします。それと、報告書案ということで別冊で配布させていただいております。提案理由でございます。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づくもので、総合計画等推進委員会において実施された教育委員会の事務事業についての点検・評価と、学識経験を有する者による意見に基づいて、平成30年度宗像市教育委員会事業報告書案を作成しましたので、

教育委員会に付議するものでございます。この教育委員会事業報告書につきましては、毎年度作成をして議会に提出するということと、公表を行うということになっております。宗像市では、平成22年度から教育評価委員会を設置して対応してきたわけですが、昨年度から、市長部局が設置する総合計画等推進委員会において事業に対して審議いただいた提言等を踏まえて、評価結果と対応方針を教育委員会で決定する。それと教育に関する学識経験を有する者の意見を踏まえて報告書としたものでございます。

6ページでは、30年度の点検及び評価の流れということで、報告書を作成するまでの流れを掲載しています。まず教育委員会事務局の方で施策、それから事業につきまして、平成29年度実施分の自己評価をしております。それを市長部局が組織する総合計画等推進委員会へ評価資料を提出し、そこで自己評価に関する審議をいただきました。ここで、矢印に内部評価に対する点検とその課題等の提言ということで提言をいただきました。それを受けまして、評価結果と対応方針というものを事務局案として作成、決定をしております。その時点で、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用ということで、福岡教育大学の鈴木先生からご意見・ご提言を受けまして、この教育委員会で最終的に報告書の決定をしていくという流れになっております。実際の中身は報告書をご覧いただきたいのですが、12ページから点検及び評価についてです。今年度、点検評価の対象になった施策は「子どもの健やかな成長」、「子育て環境の充実」、「教育活動の充実」、「生涯を通じた学習の振興」という4施策です。14ページからは、総合計画等推進委員会の意見ということで、それぞれ施策ごとの表の最後に総合計画等推進委員会の意見等ということで掲載させていただいております。

22ページから26ページにつきましては、教育委員会の評価結果と対応方針ということで、その評価結果と推進委員会の意見を踏まえた上での評価結果と対応方針を掲載しております。いずれの4施策につきましても、今後現行通り実施するという形で決定しております。施策毎にいくつか事務事業がありますので、事務事業ごとにおきましても評価という形で掲載をしております。ほとんどの事務事業につきましても現行通りということになっておりますが、24ページの「教育活動の充実」の下の方の評価結果で、小中一貫教育推進事業が拡充、それから世界遺産学習推進事業が拡充ということで、この2事業につきましては拡充としております。小中一貫教育事業につきましては、上の対応方針の中に書いておりますけれども、コミュニティ・スクールを今後視野に入れまして、学園コーディネーターを中心とした学校運営協議委員会を充実させていくということで、対応方針の中でも決定をしたところでございます。実際30年度はコミュニティ・スクールの視野ということと、学園コーディネーターを中核とした学校運営評議委員会の充実、開催回数等も拡大をしているということで30年度は拡充したということになっております。それから世界遺産学習推進事業につきましても対応方針の中にございます通り29年度に副読本を作成し、本年度からすべての市立学校に世界遺産学習を核としたふるさと学習を本格実施したということでございます。それから11月には全国サミットも開催するというこ

とでこれも拡充ということでございます。27から29ページにつきましては教育に関する学識を有する者の意見として、福岡教育大学の鈴木教授からの意見を頂戴しましたので、記載しております。以上の流れで教育委員会事業報告書(案)を作成しましたので、本日も承認いただければ、決定させていただきたいということでございます。以上です。

【高宮教育長】事務局から説明がありました。一括でどの部分からでも結構ですのでご質問等ありましたらお願いいたします。

【宮司委員】はい。15ページの「子どもの健やかな成長」の中の「放課後子ども総合プラン事業」についての質問です。交流活動等を市内6か所というのは、放課後活動については宗像市内全部に言って、市内の地域の色々なところの協力を得ることができた地域が始まっているということですか。

【子ども育成課社会教育主事】社会教育主事の河野です。それぞれのコミュニティの方ですでに取り組みされているところもございます。吉武はコミュニティとしての事業を行っています。それ以外のところでは、例えば福岡県の寺子屋検討事業がございまして、それに対応して行っているところもあります。その他の箇所につきましては、そういった活動に取り組みたいというコミュニティや小学校のPTAの方々の要望は聞いています。実情はいつまでといったそのような見通しは立っていないですけれども、そういった問い合わせはいただいているというところではあります。

【宮司委員】わかりました。ありがとうございます。

【高宮教育長】ほかにございますでしょうか。

【白石委員】宮司委員の質問に加えてですが、今後特に30年度においてはできるだけその方向に向かうように教育委員会として指導していくということですね。

【子ども育成課社会教育主事】市としては、すべてのコミュニティで、すべての子どもたちにそういった機会を提供していきたいという思いはあります。しかし、実際に子どもたちと関わっているのは地域の方になりますので、そこが行政主導ではなくコミュニティ主導で、地域の方たちの体制作りの支援のところから子ども育成課としては取り組んでいくということではあります。

【白石委員】ありがとうございました。

【高宮教育長】では他に質問ございませんでしょうか。釜瀬委員お願いします。

【釜瀬委員】24ページの「教育活動の充実」の中で、「小中一貫教育の充実」、また「世界遺産学習の充実」の2点について拡充ということで、それは賛成なんですけど、具体的にこういうところを新たにやっているとか、今後やろうとしているとか、そのようなことがありましたら説明いただくと大変ありがたいです。

【教育政策課長】先ほども少し触れたのですが、なぜ拡充かということで、上の方で今後の対応方針という欄があります。これは評価委員会の方でいろいろな提言がありまして、その答えという形になっています。来年度以降こういったことで対応をしていくということを記載させていただいた分ですが、その中で、小中一貫教育事業につきましては

4つ目の黒点の文章の「学年コーディネーターは、」というところで、「コミュニティ・スクールを視野に入れ」と書いています。今の小中一貫教育をさらに発展をさせるために、コミュニティスクールを実際に考えながら学校運営協議会を充実させていくということです。学校運営評議委員会も、1学期に1回ごとやっていたのを4回、5回としていくということで、実際に30年度から回数も増やしております。それから世界遺産学習につきましても記載しておりますように30年度から全小中学校に本格実施をスタートしておりますのでこれも拡充ということになるかと思えます。以上です。

【釜瀬委員】 ありがとうございます。前半の説明を聞き流しておりました。申し訳ありませんでした。

【高宮教育長】 阿部主幹指導主事から補足はありますか。

【主幹指導主事】 このコミュニティ・スクールにつきましては、今学校運営評議会制度については努力義務になっておりますけれども、国は平成34年にすべての学校をコミュニティ・スクールにするという方向でして、今を準備期間として捉えてほしいというふうに言われております。宗像市としても、それに向かって準備を進めていくということで、最終的にはすべての学園をコミュニティ・スクールというゴールに向かって進めていきたいと思っております。このコミュニティ・スクールの中身、それから今後の方針等については、次回の総合教育会議の中で具体的に示させていただきたいと思っております。以上です。

【高宮教育長】 他に付け加えありますか。

【教育子ども部長】 評価の流れについてなんですけれども、宗像市の場合は総合計画等推進委員会で、教育に限らず市の施策全体の評価をして、その流れの中で組み込ませてもらっているというのが特徴的かと思えます。その関係で他の部の施策と同じようなトーンで踏み込んだ内容についても評価されているというのが特徴的かもしれません。教育委員会としての評価にかなり踏み込んだ内容も出ていますので、市長部局がどこまで踏み込むのかという疑問ももしかしたらあるのかもしれませんが、流れとしては市の施策全体についての自己評価と合わせてしているためこういう内容になっているかと思えます。

【白石委員】 最初にお尋ねしなければいけなかったことですが、推進委員の方の意見ということで記載されていますが、とても的を得ているというか言葉を返すと手厳しいなと思えました。これだけきちんとやってきていたにも関わらず、こういうご意見をいただけるということは、それぞれの委員さんの気持ちがそれなりに強いのだろうと思います。これは委員会でもとめられた内容がここに意見ということで記載されているということですか。それとも個人の意見がそのまま抽出されたものですか。個人の意見として4項目、2項目となっているならわかるような気がいたします。

【教育子ども部長】 先に申し上げたところですが、総合計画の審議会で各部から各課なりの評価を踏まえたうえで審議会をしていただいて、その時の意見を経営企画部が取りまとめをして内容を確認して推進委員会として取りまとめて、こういう意見でいいかという

確認をとっております。

【子どもグローバル人材育成担当課】 以前担当していたので補足いたしますと、総合計画推進委員会は議論する施策に対して、それぞれの担当課も委員会に出席しております。ですから、例えば学校の話をするときにはおそらく教育政策課も出ていると思いますし、子ども施策の審議をする場合は子ども育成課が出たりして、それぞれの担当課が出ましてそこでやり取りをしています。質問が出たり、それに対して答えたりする中で、こういう視点もありますね、ということがあれば、ここに意見として最後にまとめて出されているというふうにご認識していただければと思います。ですから、個人の意見というよりも、そこで議論した中の意見ということになります。

【白石委員】 ありがとうございます。昨年も同じ質問をしたことを思い出しました。これを見てショックでしたので、そういうこともあったと思い出しました。

【高宮教育長】 それではほかにご質問ございませんか。

【各委員】 特にありません。

【高宮教育長】 議案第16号について承認いただける方は挙手をお願いします。

【各委員】 はい。(挙手)

【高宮教育長】 全員賛成で議案第16号は承認されました。

## 7 報告

【市民協働環境部】

<郷土文化課>

- 1 平成30年度海の道むなかた館特別展開催

【教育子ども部】

<図書課>

- 1 夏休みおはなし会報告

<教育政策課>

- 1 小中一貫教育推進校研究発表会について
- 2 全体研修会・教育講演会事業報告
- 3 経営力・授業力・組織力アップ! 選べる夏期講座事業報告
- 4 福岡県市町村教育委員会教育委員研修会について
- 5 市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)について
- 6 9月学校の日について
- 7 行政報告
- 8 後援報告

8 イベント周知

- 1 初心者のための読み聞かせ講座

【高宮教育長】 次回開催予定日は、平成30年10月23日火曜日の午後1時から304会議室にて開催します。

平成 30年 10月 23日

高宮史郎

釜瀬 計